

【令和5年度附属学校児童生徒等表彰式受賞者（団体）の紹介】

○附属小学校

★コーラス部（部員42名）

〔代表〕松浦 彩恵：まつうら さあや

本校コーラス部は、「歌う喜び 歌える喜び」をスローガンに練習に励んでいる。近年のコロナ禍においては、練習休止やマスク着用での練習を余儀なくされたが、感染対策に注意を払いつつ地道に活動を続けてきた。

今年度、NHK全国学校音楽コンクール（NHK及び全日本音楽教育研究会主催）においては、県大会で金賞を受賞して10年ぶりに四国大会出場を果たし、四国大会では銀賞となった。全日本小学校合唱コンクール（全日本合唱連盟及び朝日新聞社の主催）においては2年連続で全国大会出場を果たし、令和5年11月12日（日）に福岡県福岡市の福岡シンフォニーホールで開催された今年度の大会では、金賞及び福岡市教育委員会賞を受賞という栄冠に輝いた。

また、学期中の練習については、児童の負担を考慮して放課後ではなく朝練習（7：40～8：05）を基本とし、長期休業中や大会前だけに集中して練習時間を設けている。

他校に比べると練習時間は少ないが、1年生から音楽専科が音楽科の授業を担当し、日頃の学習活動の中でよりよい発声や表現方法の工夫について指導したり、先輩のよい歌声を耳にする機会を設けたりすることで全体的なレベルアップを図っている。児童もそれに応え、日々の学習活動や練習の一つ一つを大切にしていることが限られた時間で美しいハーモニーを生み出す秘訣となっている。

○附属中学校

★コーラス部（部員30名）

〔代表〕松本 文海：まつもと ふみ

本校コーラス部は、今年度のNHK全国学校音楽コンクールと全日本合唱コンクールにおいて、2年連続全国大会出場を果たし、NHK全国学校音楽コンクールでは優良賞を、全日本合唱コンクールでは銅賞を受賞した。2年連続二つのコンクールにおいて全国大会出場となるのは史上初である。

今年の3年生は、1年の時の県大会は無観客開催され、ステージで歌うことができたが、四国大会が直前に音源審査となり、練習の成果をステージで披露することなく終わってしまった。2年の時は先輩の力も借りて、二つのコンクールで22年ぶりの全国大会出場を果たした。3年では、マスク着用も間隔も制限のない状態でステージに立つことができ、附属中学校の響きを会場に響かせることができた。

★男子ソフトテニス部（全国大会メンバー8名）

〔代表〕 室崎 航輝：むろさき こうき

本校男子ソフトテニス部は、地区大会を勝ち抜いて出場した愛媛県中学校総合体育大会の団体の部において第3位となり、上位2校が四国大会で優勝準優勝を勝ち取ったため、開催地枠で全国大会出場を果たした。本校男子ソフトテニス部の歴史において全国大会出場となるのは初である。

3年生は、1年生の頃から大変前向きで、学業も怠ることなく、生徒会活動も行うなど、学校行事でも活躍した。その日頃の努力の積み重ねが今回の全国大会出場に繋がった。